

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

医療法人社団 東京石心会

医療法人社団 新東京石心会

社会福祉法人 石心福祉会

<http://www.sekishinkai.or.jp>

海燕

うみ

つばめ

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男

発行：石心会法人事務局

〒212-0014 川崎市幸区大宮町 23 番地 5

コーラルビル

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

提言

これからの川崎幸病院が 目指すものは……

川崎幸病院は地域のための医療を担う民間病院としてスタートしました。しかし、これからの川崎幸病院は、現状にとどまらず高い理想を実現していくことになります（理想は高ければ高いほど良いです）。

具体的には、患者を含めた社会から圧倒的に支持され（多大な社会貢献）、医療者からは目指すべき目標となり（憧れの存在）、そして職員にとって大きな誇りになるような病院です。

世界で言えば、かつての Mayo Clinic や MGH、Cleveland Clinic^{※注} のようなものかもしれません。こういうことを言うと、おそらく「今でもそれなりにうまくいっているのに、なぜ無理して変えないといけないのか」と、考える職員が出てきます。

しかし、「うまくいっている」と考えているのはその人だけであって、患者はそう考えているのでしょうか？ 世の中の人々は川崎幸病院に100点をつけてくれるのでしょうか？ 医療関係者は「働きたい病院」の一位に指名してくれるのでしょうか？

現状維持は危機意識の欠如・未来志向の欠如であり、それはいずれ衰退を招きます。

高い理想を実現するために 必要なものは……

それは「理念」といわれるものです。成功し

川崎幸病院・私の病院改革〈下〉

山本 晋

川崎幸病院院長

ている企業の理念を見ていると、なるほどと思うものがいくつもあります。企業のイメージと理念が一致しています。逆に言えば、一貫した理念を守っているから成功していると言えます。それでは、私たち石心会の理念とはなんでしょうか。

理念1：断らない

「断らない」とは救急医療に限ったことではありません。たとえば、死亡率や合併症発生率が高い医療、訴訟になりやすい医療、夜間や祭日の医療……。こういう医療は往往にして大病院は断ります。そういう医療も断らない。人が嫌がるものを率先してやる……。これが「断らない」です。

病院機能に即して「川崎幸病院は断らない病院ですね」と言われなければなりません。川崎幸病院が取り組む土・日・祭日の平日化も「断らない」の実践です。

当直医と看護師、それに当直職員だけが断らなければ良いというものではなく、全ての職員が自分の本来業務を常に断ることなく実行することが必要です。



理念2：患者主体

「患者主体」の意味を明確に定義するのはなかなか難しいかもしれません。

断っておきますが、患者主体とは患者至上主義ではありません。「断らない」が具体的な行動規範であるのに対して、「患者主体」というのは自分が判断に迷った時、つまり「本当にそれで良いのか？」という判断を迫られた時の拠り所（判断基準）となるものだと考えます。

私たち医療者は、毎日患者と接する中でいろいろ判断に迷うことがあります。手術が必要な急患が来たとき、今夜手術すべきか明日の朝から手術すべきか……と迷います。しかし、よくよく考えてみると、手術を明日にしようと考えたのは、実は手術室看護師や麻酔科医に対する遠慮、自分の今晚の予定などが影響しているということに気づきます。

看護師や麻酔科医や自分のことは、とりあえず置いておいて、「患者の利益という観点からは、この手術はいつ行うべきか？」という判断をする。これが「患者主体」の意味であり、「これは患者主体といえるか？」という自問をすることによって医療者はより正しい判断をすることができるのです。

理念を守り抜く規律

理念を実践していくことが重要なのは、誰でもわかることです。しかし、それができるかどうかは別問題です。

病院で働いていく以上、職員にはやるべき仕事があります。やるべき仕事になされれば組織は効率的に機能しますが、決められたことをやらない、

やるべきことをやらない……、というのでは病院機能は停止します。

優れた組織には例外なく規律が存在します。規律とは外部から強要されるものではなく、自らの責任の自覚に他なりません。責任ある行動が取れる職員から構成された組織には、規律が自ずと存在します。

結局、自分は組織の中で何をすべきかを理解し、責任ある行動を一人一人の職員がとることによって規律が生まれ、理念は実践されます。多くの職員が自分の理想ややりがい、を、川崎幸病院という組織に求めています。自分だけのためではなく組織（とその中で働く人々）のために、そして最終的には私たちの仕事が社会に還元されるために、職員一人一人の規律ある行動が求められています。

※注

Mayo Clinic（メイヨー・クリニック）

1846年に小さな診療所として開設。ミネソタ州ロチェスター市に本部を置く総合病院。全米で最も優れた病院のひとつで、附設のメイヨー医学校も含め、高い評価。初めてレジデンシー制度を採用し、卒後の臨床研修モデルを作る。

MGH（マサチューセッツ総合病院 Massachusetts General Hospital の略）

1811年に創立。マサチューセッツ州ボストン。ハーバード大学関連医療機関の中心的な病院であり、研究、教育、患者ケアの分野で国際的にトップレベルの病院。常に全米病院ランキングの上位に入る。

Cleveland Clinic（クリーブランド・クリニック）

1921年設立。オハイオ州クリーブランド市に本拠地を置く。研究と教育を基に臨床と医療ケアを統合。心臓科は全米病院ランキング10年間連続第一位。世界初の“輸血”“心臓バイパス手術”“腎臓の透析”などが行われた。

老人と老い



老人とは「老いた人」というわけですが、法律の老人福祉法では、老人ホームへの入所などの対象が「65歳以上の者」としています。また国民年金法でも「老齢基礎年金の支給は65歳に達したとき」などとなっています。マスメディアでは以前は65歳を「老人」という言葉を使う目安にしていたようです。

老人と言いにくくて

平均寿命の推移をみると、戦前は50歳にも満たなかったのですが、昭和22年では男50.06歳、女53.96歳でした。今や男女とも80歳をゆうに超えています。

ここまで高齢化が進んだ今65歳以上の人たちをひとくくりにして「老人」とするには少々無理があるようです。

65歳以上でも、第一線で働いている人たちがたくさんいますし、働いていなくても「老人」や「お年寄り」と言われるのを心外に思われる方は大勢いることでしょう。

「老人」は、「還暦を迎えた人」とか「還暦を過ぎた人」などと言い換えられたり、「高齢者」や「年配の女性」とか「65歳の男性」などにしていることもあります。

インタビューでは、「おじいちゃん」、「おばあちゃん」と呼びかけるのを控え、相手に不快感を与えないために、名前で話しかけています。

このように、「老人」に配慮するのはいいのですが、とってつけたよ

うな感は否めません。高齢者を疎外せずに社会システムの中に有機的に組み込まなければ、こうした違和感はないでしょう。

もう若くはない

橋本治という作家がいます。東京大学に在学中のときの駒場祭のポスターに、「とめてくれるなおっさん 背中の銀杏が泣いている 男東大どこへ行く」というコピーを書いた人で、多くの小説、評論を書いています。

橋本治が書いた『いつまでも若いと思うなよ』（新潮新書）は、60歳を過ぎた自身の病気の話、入院して考えたこと、これからの暮らしについて綴った老人入門書です。

その中で、「病人より老人がいい」という章に『『自分の老い』に対して、『人は誰でもアマチュアだ』』として、「老い」の訪れ方は人によって違うのだから『『自分の老い』に訪れられる人は、すべて『老いに関するアマチュア』です。『自分の老い』は『自分の老い』で、『他人の老い』とは違うのです」と、老いには人それぞれのものがあり、他人にはうかがい知れないことばかりだと述べています。

一律に老いを観念的に捉えても仕方がなく、人それぞれが時間の経過とともに、次々と自分なりの老いが見つかるそうです。

もう若くはないけれど

橋本治は、人間の年の取り方を普

通は「少年→青年→中年→老年」と考えていくのに対して、これは外形的な変化で、実感としては「若い→まだ若い→そんなに若くはない→もう若くはない→老人だ」ではないだろうか、としています。

“まだ、から”もう、と感じるのは当人次第だということです。ただ、今では“老人だ、と自覚してから”の人生がとても長くなりました。老人の人生がそれまでの人生と同じくらいの長さですから、残された人生とは言わず、これからの人生と言わなければなりません。

老いと生

老いの先にあるのが「死」です。『ものぐさ精神分析』（中公文庫）でセンセーションを起こした岸田秀は、『古希の雑考』（文春文庫）で、「死の恐怖を知るのは人間だけであると考えられる」とします。動物も死を避けようとするが、目の前に迫った死の危険を避けるだけで、人間の死の恐怖とは違うということです。

人間は、遠い先のことであろうが、いつの日にか、自分が死ぬと考えただけで怖がるそうです。自分を意識すると自我ができ、他の人と切り離され、自分が死ぬとその意識も消え、全てが消え、何も残りません。人が死を恐れるのは、その空虚を恐れるからだそうです。

「人間は本能を壊された動物」で、他の動物のように本能だけで生きると、自己保存も種族保存もできるの

に、本能の壊れた人間は、本能の代用品として自我をつくったというのです。自我のおかげで、自分を制御することができ、行動規範や道徳がつくられるのですが、そのために自己保存や種族保存と切り離されてしまうというのです。

こうした精神分析で人間と人間社会の独特のつくられ方が見えてきますが、老いて病を得た橋本治は、病室でこんなことを考えました。

まず入院した病院の病室で、年を取るということは古い壁からはがれ落ちたタイルのように、孤独になり、孤立するのは当たり前になると気づきます。「年を取ると孤独でもいいんだ。もう自由なんだ」と。

さらに病院は生死が考えられる落ち着いた場所ではなく、1日中騒々し

く、患者さんを大急ぎで治療して、さっさと退院させるところだと思ふようになります。そして病院では、退院後の「生」を考えるとすると知るので。

人間が病院に来るのは、どんなに高齢の方でも、病気を治すためであり、生きるためなのです。

老人を社会に組み入れる

年相応に自分なりの老いを積み重ねることは、老いの長い人生が示されていくことです。今後の高齢化社会をつくるにあたって、大きな示唆があるはずです。さまざまな老いの形を評価して実社会での役割を担ってもらう社会システムにつくりなおさなければならないと思います。

もしあなたが高齢になって周囲か

ら「お若いですね」と言われたら、たいていは外形の印象を言葉にしたものです。それに応じて「気持ち若いからね」と、嬉しがって答えるのはほどほどにしましょう。

なぜなら、老いた脳は若い時の記憶はしっかり残しているのですが、年を取ってからの記憶は薄れるからです。気が若いと思えるのは、最近の記憶がないだけなのかも知れません。老いには次々と現れる段階があるのです。それを自覚した老人は社会を担うことができるのです。

高齢になると二つや三つの病気を持っているのは普通になりました。それぞれの老人にもっともふさわしい医療が、高齢社会の大きな支えの一つになることは言うまでもありません。(K)



『お釈迦さま以外はみんなバカ』

高橋源一郎著

インターナショナル選書（集英社インターナショナル）

定価 740 円 + 税

高橋源一郎が著した『日本文学盛衰史』（講談社文庫）と島田雅彦の『深読み日本文学』（インターナショナル選書）は、日本文学を見渡すのに役立つ斬新な2冊です。

その高橋源一郎は、朝日新聞の論壇でも先鋭な意見を述べる作家です。NHKの「すっぴん！」という生ラジオ番組でパーソナリティを務め、その中の15分間のコーナー「源ちゃんのゲンダイ国語」で紹介した本の中から選んだ、約40冊が紹介されているのが本書です。

三十一文字のラブレター

最初の本は、『たとへば君^{きみ} 四十年の恋歌』（文藝春秋）です。

若い男女が、恋に落ち、その恋は実って結婚し、

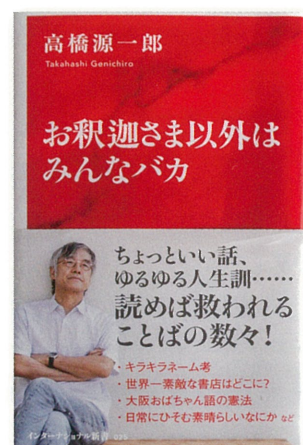
子どもが生まれました。ところが女性の方が癌になり、闘病生活に。やがて癌は彼女の生を奪いました。

二人ともとても優れた歌人です。河野裕子と永田和宏。

やがて河野に訪れた最後の時、河野はようやく声を出し、永田が耳をよせて聞き取った歌。

手をのべてあなたとあなたに触れたときに
息が足りないこの世の息が

放送で読み上げて紹介するのにふさわしい本です。



ジョンレノンとオノ・ヨーコと小噺

オノ・ヨーコの『グレープ・フルーツジュース』（講談社）では、二人の初めての出会いのエピソードを紹介しています。

1966年、ヨーコがギャラリーで展覧会を開く前日のこと。ジョンが目にとめたのは、真っ白なキャンバスに釘と金槌が添えてあり、「釘を打て」と書いてありました。現代美術作品です。

そこにいたヨーコに「釘を打ってもいい？」とジョンが言うと、ヨーコが「5シリングを払うならいいわ」と答えました。するとジョンは「では、あなたに想像の5シリングを払うから、想像の釘を打つね」と応じたということです。二人の交際が始まりました。芸術家ならではのウィット十分なやりとりにも思えます。

このくだりを読みながら、こんな話を思い出しました。

「鰻屋の隣に住んでいた男が鰻の蒲焼を焼く匂いをおかずにして白いご飯を毎日食べていた。

ある時ケチで知られた鰻屋の主人が乗り込んできて当店の鰻の匂いでご飯を食べているのだから代金を払えと言う。

言われた男は平然としてお金をチャリンと投げ出して音だけ持って行け」。よくご存知の落語の

小噺です。

同じ想像の話ですが、この落差に思わずニヤリ。

しかし、東京・神楽坂には、ジョン・レノンとオノ・ヨーコの二人が時折り訪ねた「たつみや」という鰻屋があります。無粋な話を挟みましたがご勘弁を。

お釈迦さま以外はみんなバカ

臨済宗のお坊さんげんゆうそうきゅうの玄侑宗久が書いた『さすらいの仏教語』（中公新書）が「バカ」の語源に触れています。サンスクリットの『モハー』に漢字の「莫迦」を当てたといいます。『モハー』とは『痴』という意味だそうです。

「莫」は否定の意味で、「迦」はお釈迦さまです。「莫迦」は「お釈迦さまではない」ということになります。そうするとお釈迦さま以外の人類はみんな「バカ」ということになってしまいます。

「どっこいしょ」については、もともとはろっこんしょうじょう「六根清浄」がなまったものだそうです。それで、年を取るとみんな「どっこいしょ」、「どっこいしょ」と言って、信心深くなって行くのでしょうか。

一読すると軽い話のようであって、実は深い話が随所にあります。何より高橋源一郎の繊細で鋭い紹介が楽しいのです。

石心会カレンダー

| | | 神奈川地区 | 埼玉地区 | |
|----|-------|---|---|---|
| 9月 | 1日 土 | | 9月1日(土) 看護部 ジュニアI 研修 (BLS プロ バイダー受講) | 9月1日(土) 第39回九都 9月1~3日(土・日・月) お 縣市合同防災訓練(平成30 わら風の盆 富山市八尾町 年度川崎市総合防災訓練) 訓練会場: 東扇島東公園及 び川崎マリエン他 |
| | 2日 日 | | | |
| | 3日 月 | 9月3日(月) 看護部 研修「フ レッシュナース Summer 研修II」 | 9月3日(月) 看護部 看護補助 者研修 | |
| | 4日 火 | | | |
| | 5日 水 | 9月5・6日(水・木) 看護部 看護研究 学習会 | | |
| | 6日 木 | | 9月6日(木) 第4回ケアマネー ジャー 医療講習 会 原 淳・副院長 整 形外科部長 会場: 川崎幸病院 | |
| | 7日 金 | | 9月6・7日(木・金) 看護部 看護補助 者研修 | |
| | 8日 土 | 白露 (はくろ) | | |
| | 9日 日 | | | |
| | 10日 月 | 秋が深ま り、草花 に朝露が つきはじ める頃 | 9月10日(月) 出張感染勉強会 感染管理者: 伊藤 科長 会場: 特別養護老 人ホーム クロス ハート幸 | |
| | 11日 火 | | 9月11日(火) 看護部 研修「クリ ニカルレベルⅢ対 象者研修Ⅳ」 看護部 既卒者交 流会 | 9月13日(木) みんなの健康塾 「みんなで身につけよう 防災力」 川崎幸病院・さいわい鶴見病院看護師 / 防災対策チーム |
| | 12日 水 | | 9月12日(水) 看護部 ジュニアⅡ 研修 | 9月14~16日(金・土・日) 鶴岡八幡宮例大祭 鎌倉市 |
| | 13日 木 | 9月13日(木) 看護部 プリセブ ター研修 | | 9月15・16日(土・日) 岸和田だんじり祭 岸和田市 |
| | 14日 金 | | 9月15日(土) 看護部 研修 ケー ススタディ相談会 | |
| | 15日 土 | | | |
| | 16日 日 | 9月18日(火) 看護部 中途採用 者研修 | | |
| | 17日 月 | 9月20日(木) 看護部 ジュニア Ⅲ研修 | | |
| | 18日 火 | | 9月18日(火) 看護部 看護診断 サロン | |
| | 19日 水 | | 9月19日(水)/26 看護部 クリニカ ルバス勉強会 | |
| | 20日 木 | | 9月20日(木) 看護部 研修 「ライムナース Autumn 研修I」 | 9月20日(木) 地域医療連携セミ ナー 特別講演 会場: 埼玉石心会 病院 |
| | 21日 金 | 9月21日(金) 看護部 スタッフⅡ・ Ⅲ研修 | 9月21日(金) 腎臓病勉強会 川崎幸病院・川崎 クリニック・さいわ い鹿島田クリニッ ク共催 会場: 川崎幸病院 | |
| | 22日 土 | 9月22日(土) 「さいわいコンサー ト」 | | |
| | 23日 日 | 秋分 (しゅうぶん) | | |
| | 24日 月 | | | |
| | 25日 火 | 昼夜の長 さがほぼ 同じになる 秋分 の日は彼 岸の中日 で前後3 日間を秋 彼岸とい う | 9月25日(火) 看護部 研修 「レモンナース Autumn 研修I」 | |
| | 26日 水 | | 9月26日(水) 看護部 クリニカルバス勉 強会 | 9月27日(木) 地域医療連携セミ ナー 特別講演 会場: 埼玉石心会 病院 |
| | 27日 木 | | 9月27日(木) 看護部 研修「クリ ニカルレベルⅢ対 象者研修Ⅲ」 | |
| | 28日 金 | | | |
| | 29日 土 | | 9月29日(土) 看護部 ジュニアI 研修 (BLS プロ バイダー受講) | |
| | 30日 日 | | | |



| | | 神奈川地区 | 埼玉地区 | |
|-----|-------|---|---|---|
| 10月 | 1日 月 | | | |
| | 2日 火 | 10月2・3日(月・火) 看護部 看護補助者研修 | 10月2日(火) 看護部 看護補助者研修 | 10月2日(火) 整形外科 医療連携講演会 会場:川崎日航ホテル |
| | 3日 水 | | | |
| | 4日 木 | | 10月4日(木) 看護部 ジュニアI研修 | |
| | 5日 金 | | | |
| | 6日 土 | 10月6日(土) 川崎市消防局合同総合訓練(夜間の火災想定訓練) |  | |
| | 7日 日 | | | |
| | 8日 月 | 寒露 (かんろ) 草木に冷たい露が降りる頃 秋の長雨が終わり、ぐっと秋が深まる | | 10月6日(土) 第33回 かわさき阿波おどり 川崎駅 東口の銀座街銀柳街アゼリ アラチッタデッラ(チネチッタ) 公園 |
| | 9日 火 | | | 10月6日(土)~7(日) 第44回 川崎みなと祭り 川崎マリエン周辺・東扇島東 |
| | 10日 水 | | | 10月7~9日(日・月・火) 長崎くんち 鎮西大社諏訪神社 長崎市 |
| | 11日 木 | | 10月11日(木) 看護部研修「フレッシュナース Autumn 研修I」 | |
| | 12日 金 | 10月12日(金) 消化器内科 内視鏡スキルアップセミナー 会場:川崎日航ホテル | 10月11日(木) 看護部 スタッフI研修 | |
| | 13日 土 | | | 10月13日(土) 第77回川崎市制記念多摩川花火大会 川崎市高津区多摩川河川敷 |
| | 14日 日 | | | |
| | 15日 月 | | | |
| | 16日 火 | 10月16日(火) 看護部 中途採用者研修 | 10月16日(火) 看護部 看護診断サロン | |
| | 17日 水 | 10月17日(水) 看護部 ジュニアII研修 | 10月17日(水) みんなの健康塾「頭痛の悩みをなんとかしたいぞ! フォーラム」 会場:ミューザ川崎シンフォニーホール | |
| | 18日 木 | |  | |
| | 19日 金 | | | |
| | 20日 土 | | | 10月20・21日(土・日) 川越まつり:本川越駅周辺 |
| | 21日 日 | | | |
| | 22日 月 | | | 10月22日(月) 時代祭:平安神宮 京都市 |
| | 23日 火 | 10月23日(火) 看護部研修「ライムナース Autumn 研修II」 | | 10月22日 鞍馬の火祭:由岐神社 京都市 |
| | 24日 水 | | 10月24日(水) 看護部 看護部管理者研修 | |
| | 25日 木 | 霜降 (そうこう) 早朝に霜が降り始める頃 | 10月25・26日(木・金) 看護部 看護研究学習会 | 10月25日(木) 看護部 プリセプター研修 |
| | 26日 金 | | | |
| | 27日 土 | 10月26日(金) 泌尿器科 医療連携講演会 会場:川崎幸病院 | 10月27日(土) 「さいわいコンサート」 | 10月27・28日(土・日) 入間万燈まつり:入間市産業文化センター周辺、彩の森入間公園ほか |
| | 28日 日 | | 10月27日(土) 心臓血管市民公開講座 会場:埼玉石心会病院 | 10月28日 第22回 ハロウィン・パレード JR川崎駅東ロー帯 |
| | 29日 月 |  | | |
| | 30日 火 | | | |
| | 31日 水 | | | |

石心会グループ学会発表一覧

2018.5~2018.7

◆川崎幸病院

学会発表

【国際学会】

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|-------|---------|---------------|--|---|------|--------|
| 太田 竜 | 外科 | 2018.5.30-6.1 | 26th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery(EAES) | Combined laparoscopic and transanal total mesorectal excision for lower rectal cancer | ロンドン | ポスター発表 |
| 長谷聡一郎 | 大動脈センター | 2018.6.22-24 | The 3rd Scientific Meeting of Asia-Pacific Association of Image-guided Therapy in Oncology | Percutaneous CT-guided implantation of a Visicoil fiducial marker for stereotactic body radiotherapy of the lung in 32 patients | 香港 | 一般口演 |

診療部

【全国学会】

| | | | | | | |
|-------|----------|--------------|-----------------------------------|--|-----|--------|
| 山崎元成 | 大動脈センター | 2018.5.9 | 第46回日本血管外科学会 | Preclosure 法による経皮的ステントグラフト手術 160 例の経験 | 山形 | 一般口演 |
| 長谷聡一郎 | 大動脈センター | 2018.5.9 | 第46回日本血管外科学会 | 腸管虚血を併発した急性 A 型大動脈解離に対して SMA ステント留置を先行させた 1 例 | 山形 | 一般口演 |
| 長谷聡一郎 | 大動脈センター | 2018.6.1 | 第36回日本Metallic Stents & Graft 研究会 | 急性 A 型大動脈解離 hemi-archreplacement 後右上肢 malperfusion に対してステント治療を施行した 1 例 | 山形 | 一般口演 |
| 長谷聡一郎 | 大動脈センター | 2018.6.1 | 第36回日本Metallic Stents & Graft 研究会 | A 型解離 +malperfusion に対する治療戦略 | 山形 | 一般口演 |
| 長谷聡一郎 | 大動脈センター | 2018.7.6 | 第22回大動脈ステントグラフト研究会 | EVAR5 年後に脚逸脱が原因と考えられた腹部大動脈瘤破裂に対して追加血管内治療が難渋した 1 例 | 神戸 | 一般口演 |
| 日月裕司 | がん治療センター | 2018.6.29 | 第72回日本食道学会学術集会 | パネルディスカッション 3 チーム医療と地域連携の現状と今後の展開 | 宇都宮 | 特別発言 |
| 日月裕司 | がん治療センター | 2018.7.13 | 第73回日本消化器外科学会総会 | パネルディスカッション 1 食道癌サルベージ手術 - 時期、適応、工夫 - | 鹿児島 | 特別発言 |
| 太田 竜 | 外科 | 2018.5.12 | 第95回日本消化器内視鏡学会総会 | 大腸癌との鑑別が困難でステント閉塞を生じた下降結腸憩室炎の治療経験 | 東京 | ポスター発表 |
| 小根山正貴 | 外科 | 2018.5.17-18 | 第26回日本乳癌学会学術総会 | 当科におけるセンチネルリンパ節生検時の色素法と蛍光法における検討 | 京都 | ポスター発表 |
| 伊藤慎吾 | 外科 | 2018.6.16 | 第47回神奈川県消化器外科研究会 | 当院の高齢者に対する鼠径ヘルニア単孔式 TEP の治療成績 | 横浜 | 一般演題 |
| 伊藤慎吾 | 外科 | 2018.6.23 | 第43回日本外科系連合学会学術集会 | 当院の鼠径ヘルニアに対する単孔式 TEP(STEP) の治療成績 | 東京 | 一般演題 |
| 伊藤慎吾 | 外科 | 2018.6.23 | 第43回日本外科系連合学会学術集会 | 腹膜播種を有する Stage IV 大腸癌の切除後の治療成績 | 東京 | 一般演題 |
| 小根山正貴 | 外科 | 2018.6.28 | 第72回日本食道学会学術集会 | 胃癌癌に対して手術を施行した 1 例 | 栃木 | ポスター発表 |
| 小根山正貴 | 外科 | 2018.6.30 | 第16回日本ヘルニア学会学術集会 | 当院で TEP を選択する理由 | 北海道 | ポスター発表 |
| 伊藤慎吾 | 外科 | 2018.6.30 | 第16回日本ヘルニア学会学術集会 | 当院の鼠径ヘルニアに対する単孔式 TEP(STEP) の治療成績 | 北海道 | ポスター発表 |
| 伊藤慎吾 | 外科 | 2018.7.11 | 第73回日本消化器外科学会総会 | 当院の鼠径ヘルニアに対する単孔式 TEP の治療成績 | 鹿児島 | 要望演題 |
| 太田 竜 | 外科 | 2018.7.11 | 第73回日本消化器外科学会総会 | 下部直腸癌に対する安全性を考慮した腹腔側操作先行 TaTME の実際と成績 | 鹿児島 | 一般演題 |
| 井上貴博 | 外科 | 2018.7.12 | 第73回日本消化器外科学会総会 | 消化器外科領域における末梢挿入型中心静脈カテーテルの有用性 | 鹿児島 | ポスター発表 |
| 成田和広 | 外科 | 2018.7.11 | 第73回日本消化器外科学会総会 | 大腸癌イレウスに対する治療成績 | 鹿児島 | 一般演題 |
| 伊藤慎吾 | 外科 | 2018.7.19 | 第16回日本臨床腫瘍学会 | 腸間膜原発の骨外性骨肉腫の臨床経験 A primary extraskeletal osteosarcoma of the mesentery;a case report | 神戸 | ポスター発表 |
| 佐藤兼重 | 形成外科 | 2018.5.25 | 第18回日本加齢医学会総会 | 顔面輪郭手術：加齢見た目との関係 | 大阪 | シンポジウム |

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|------|--------|---------------|----------------------|------------------------------------|-----|------|
| 加藤亜唯 | 腎臓内科 | 2018.6.30 | 第 63 回日本透析医学会学術集会・総会 | 腹膜透析開始後の鼠径ヘルニア発症についての検討 | 神戸 | 口演 |
| 鈴木健志 | 腎臓内科 | 2018.6.30 | 第 63 回日本透析医学会学術集会・総会 | 透析患者の結核治療中に QT 延長症候群を来した好酸球性心筋炎の一例 | 神戸 | 口演 |
| 小向大輔 | 腎臓内科 | 2018.6.30 | 第63回日本透析医学会学術集会・総会 | 生活保護受給と PD 長期経過との関連 | 神戸 | 口演 |
| 信澤 宏 | 放射線診断科 | 2018.5.25-26 | 第32回日本腹部放射線学会 | 上部消化管閉塞で発症した腹膜癌の一例 | 鎌倉 | 口演 |
| 根本隆章 | 感染制御科 | 2018.5.31-6.2 | 第 92 回日本感染症学会学術講演会 | 川崎大動脈センターにおける 大動脈グラフト感染症の臨床的検討 | 岡山 | 口演 |

【講演会】

| | | | | | | |
|------|-------|-----------|------------------------------|-------------------------------------|-----|----|
| 永尾征弥 | 脳神経外科 | 2018.5.28 | 第 60 回 神奈川脳血管内手術懇話会 | 非出血発症内頸動脈解離の臨床的検討 | 新横浜 | 講演 |
| 壺井祥史 | 脳神経外科 | 2018.6.9 | 第 5 回青葉脳神経血管内手術法ワークショップ（青葉塾） | コイル塞栓術中に脳底動脈が描出されなくなった脳底動脈先端部動脈瘤の一例 | 横浜 | 講演 |

看護部

| | | | | | | |
|-------|--------|--------------|--------------------------|--|----|----|
| 山崎美希 | 看護部 | 2018.5.20 | 第 27 回 日本創傷・オストミー・失禁管理学会 | ストーマ外来受診歴がないストーマ保有者への介入～病院とストーマ外来の連携による継続看護～ | 札幌 | 示説 |
| 長谷川麻美 | 透析室 | 2018.7.13-14 | 第 10 回 日本下肢救済・足病学会 | 看護師による継続的な関わりにより自らの病状認識に対し変容が認められた一例 | 札幌 | 口演 |
| 片山亜由子 | 透析室 | 2018.6.29-30 | 第 63 回 日本透析医学会 | 腹膜透析の地域連携のために | 神戸 | 口演 |
| 栗林江梨香 | 8 階北病棟 | 2018.6.29-30 | 第 63 回 日本透析医学会 | 病棟看護師による腎代替療法選択指導の均質化に向けた試み | 神戸 | 口演 |
| 佐藤久美子 | 看護部 | 2018.7.14 | 第 21 回 日本臨床脳神経外科学会 | 働き方改革による病院ブランディング～多様な勤務形態導入～ | 石川 | 口演 |

コメディカル部

| | | | | | | |
|------|------|--------------|----------------------------|------------------------------|------|--------|
| 長澤洋一 | CE 科 | 2018.5.26 | 第 28 回 日本臨床工学会 | 胸腹部大動脈瘤手術における A-A Bypass の検討 | 神奈川県 | ポスター発表 |
| 長澤洋一 | CE 科 | 2018.6.9 | 第 5 回 甲信 Perfusion Academy | 川崎幸病院 大動脈センターの体外循環と安全対策 | 長野県 | 特別講演 |
| 久米直子 | 栄養科 | 2018.6.28-29 | 第 68 回 日本病院学会 | 病院食での事故防止対策 | 石川 | 口演 |

論文・教科書執筆等

診療部

| 発表者 | 部署 | 雑誌名 | タイトル | 分類 |
|---|--------|---|---|----------|
| 永尾征弥 | 脳神経外科 | JNET Journal of Neuroendovascular Therapy | A Patient Who Underwent Stent-assisted Parent Artery Occlusion for a Ruptured Anterior-wall Aneurysm of the Internal Carotid Artery | 雑誌 |
| 寺戸雄一 | 病理科 | 腫瘍病理鑑別診断アトラス 子宮頸癌 第2版 | 組織学的治療効果判定 | 書籍（分担執筆） |
| Maebayashi T, Ishibashi N, Aizawa T, Sakaguchi M, Saito T, Kawamori J, and Tanaka Y | 放射線治療科 | J. Geriatric Oncology 2018 Mar 21 [Epub ahead of print] | Significance of stereotactic body radiotherapy in older patients with early stage non-small cell lung cancer. | 論文 |
| 小向大輔 | 腎臓内科 | いまさら訊けない オンラインHDFの考えたかた、使い方 | 基礎編 オンラインHDFでは抗凝固療法はどう使えばよいですか？ | 教科書 |

◆川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|------|------|-----------|---------------------|--|-----|------|
| 九島健二 | 内科 | 2018.5.25 | 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会 | 当クリニックの持効型インスリンの使用状況 | 東京 | ポスター |
| 安島美保 | 糖尿病科 | 2018.5.25 | 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会 | リラグルチドとデュラグルチド投与開始後1年間の経過と比較 | 東京 | ポスター |
| 森上善史 | 糖尿病科 | 2018.5.25 | 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会 | 当院外来通院中2型糖尿病患者に対するルセオグリフロジン追加投与による体重変化別治療効果の検討 | 東京 | ポスター |

◆第二川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|------|------|--------------|--------------------|---|-----|------|
| 木村英英 | 乳腺外科 | 2018.5.16-18 | 第26回日本乳癌学会 学術総会 | Triple negative 乳癌におけるタキサン系薬剤の治療効果と BRCAness 状況についての検討 | 京都 | 厳選口演 |
| 中村幸子 | 乳腺外科 | 2018.5.16-18 | 第26回日本乳癌学会 学術総会 | 組織診で乳腺線維腺腫と診断されたが手術標本で葉状腫瘍で あった6症例の検討 | 京都 | ポスター |

薬剤科

| | | | | | | |
|------|-----|--------------|---|--------------------|----|------|
| 金井聡子 | 薬剤室 | 2018.6.23-24 | 医療薬学フォーラム 2018 第26回クリニカルファーマ マシーシンポジウム | クリニックにおける災害対策の取り組み | 東京 | ポスター |
|------|-----|--------------|---|--------------------|----|------|

看護科

| | | | | | | |
|----------------|-----|--------------|------------------------|--|-----|------|
| 藤田範子 (共同演者) | 看護科 | 2018.5.19-20 | 日本創傷・オストミー・ 失禁管理学会誌 | ストーマ外来受診歴がないストーマ保有者への介入 ～病院とストーマ外来の連携による継続看護～ | 北海道 | ポスター |
|----------------|-----|--------------|------------------------|--|-----|------|

◆川崎クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

| | | | | | | |
|------|------|-----------|--------------------|---|----|----|
| 若狹幹雄 | 腎臓内科 | 2018.6.29 | 第63回日本透析医学 会学術会 | Etelcalcetide(E)による二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) 治療上の可能性 | 神戸 | 講演 |
| 伊藤賀恵 | 腎臓内科 | 2018.6.30 | 第63回日本透析医学 会学術会 | 透析患者におけるデノスマブの有効性に関連する因子の検討 | 神戸 | 講演 |

看護科

【全国学会】

| | | | | | | |
|------|-----|-----------|--------------------|---|----|----|
| 嶋崎由理 | 看護科 | 2018.6.30 | 第63回日本透析医学 会学術会 | 重症下肢虚血 (CLI) 終末期高齢透析患者、家族へ支援を行った 一事例 ～連携施設との関わり～ | 神戸 | 講演 |
|------|-----|-----------|--------------------|---|----|----|

透析技術課

【全国学会】

| | | | | | | |
|------|-------|-----------|--------------------|---|----|----|
| 玉木 遼 | 透析技術課 | 2018.6.29 | 第63回日本透析医学 会学術会 | Post-OHDF+I-HDF(Post+I)の間歇補液条件の違いによる溶 質除去性能の検討 | 神戸 | 講演 |
|------|-------|-----------|--------------------|---|----|----|

◆さいわい鹿島田クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

| | | | | | | |
|------|------|-----------|------------------------|--|----|------|
| 木暮照子 | 腎臓内科 | 2018.6.29 | 第63回日本透析医学 会学術集会・総会 | 長期透析中に骨髄異形成症候群 (MDS) を発症し白血球化した 高齢透析患者の一例 | 神戸 | ポスター |
|------|------|-----------|------------------------|--|----|------|

看護部

【全国学会】

| | | | | | | |
|------|-----|-----------|------------------------|------------------------------|----|----|
| 徳永優子 | 相談室 | 2018.6.29 | 第63回日本透析医学 会学術集会・総会 | 「そらまめの会」を設立して～家族会が支援者に与える効果～ | 神戸 | 講演 |
| 松谷佳恵 | 栄養科 | 2018.6.30 | 第63回日本透析医学 会学術集会・総会 | 透析患者と患者家族に対する食事支援方法の検討 | 神戸 | 講演 |

透析技術課

【全国学会】

| | | | | | | |
|------|-------|-----------|------------------------|--------------------------|----|----|
| 齋藤千尋 | 透析技術課 | 2018.6.29 | 第63回日本透析医学 会学術集会・総会 | 後希釈オンラインHDF+I-HDFの溶質除去効果 | 神戸 | 講演 |
|------|-------|-----------|------------------------|--------------------------|----|----|

◆在宅部門川崎地区

学会発表

【講演】

| | | | | | | |
|------|--------------------|-----------|---------------------|----------------------|-----|--------|
| 深井純子 | かしまだ地域包 括支援センター | 2018.5.12 | 川崎高齢者とペットの問 題研究会 | 「人の福祉と動物の福祉」その接点を考える | 川崎市 | シンポジウム |
|------|--------------------|-----------|---------------------|----------------------|-----|--------|

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【国際学会】

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|------|-------|---------------|---|--|---------|--------|
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.1.11-12 | 6 t h IMC Live | "Specific Techniques for retro grade situations" | サウジアラビア | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.1.11-12 | 6 t h IMC Live | Recent Scoring systems for predicting CTO PCI success | サウジアラビア | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.3.3 | CRT2018 | "Antegrade Wire Technique: Wire Strategy and How to Know You Are in the Lumen" | アメリカ | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.3.3 | CRT2018 | "How to manage impenetrable proximal cap" | アメリカ | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.3.3 | CRT2018 | New Strategy Update in Retrograde CTO PCI | アメリカ | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.3.3 | CRT2018 | Retrograde Basics: How to Pick A Collateral and Which Wire to Cross With | アメリカ | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.3.10 | CTO Summit 2018 | How to check the point and make strategy before CTO-PCI | 中国 | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.3.16 | LCTO 2018 | "Latest Antegrade Approach for CTO PCI" | ポーランド | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.3.16 | LCTO 2018 | Live Case PCI operator | ポーランド | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.3 | 10 t h AHO | CTO Materials and tools in 2018 | スペイン | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.3 | 10 t h AHO | Live Case PCI operator | スペイン | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.6 | Advanced Technologies Summit 2018 | CTO Case reviews: Antegrade and Retrograde techniques | UAE | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.6 | Advanced Technologies Summit 2018 | Live Case PCI operator | UAE | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.11 | CTO Summit 2018 | Live Case PCI operator | イタリア | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.17 | BASICS 2018 | Live Case PCI operator | セルビア | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.17 | BASICS 2018 | New wires and Micro catheters in CTO PCI | セルビア | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.4.30-5.1 | CTO Workshop Operator | Live Case PCI operator | UAE | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.5.2-4 | CTO Workshop Operator | Live Case PCI operator | クウェート | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.5.7-8 | CTO Workshop Operator | Live Case PCI operator | サウジアラビア | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.5.10 | Hungarian Society of Cardiology 2018 | CTO PCI Unmet Goal of Transcatheter Treatment of the last challenge | ハンガリー | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.5.26 | PCR 2018 | Live Case PCI operator | フランス | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.5.26 | PCR 2018 | Session chairman Retrograde CTO PCI | フランス | 座長 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.6.2 | IJCTO 2018 | Recent CTO scores application in Real world | インド | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.6.2 | IJCTO 2018 | Live Case PCI operator | インド | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.6.2 | IJCTO 2018 | New wires and Micro catheters in CTO PCI | インド | 招待講演 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.6.29 | Optimal CTO 2018 | Live Case PCI operator | スペイン | オペレーター |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.7.27 | 4th IMC - Advanced Intervention Symposium - | CHIP PCI in 2018 | 中国 | 招待講演 |

【全国学会】

| | | | | | | |
|-------|-------|--------------|---------------------|---|-----|------|
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.6.15 | CTO Club | CTO: Antegrade success story におけるSpecial Lecture | 名古屋 | 座長 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.6.16 | CTO Club | CTO: Antegrade success story におけるSpecial Lecture | 名古屋 | 座長 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.6.16 | CTO Club | Live demonstration: CTO Antegrade | 名古屋 | 座長 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.7.12 | TOPIC 2018 | Luncheon Seminar 1 Quick IVUS | 東京 | 座長 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.7.13 | TOPIC 2018 | Fireside Session IJCTO@TOPIC | 東京 | 座長 |
| 山根正久 | 循環器内科 | 2018.7.14 | TOPIC 2018 | PCI Live Demonstration 8 | 東京 | 座長 |
| 根田 保 | 糖尿病内科 | 2018.5.25 | 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会 | インスリングルゲンU100からインスリングルゲンU300への切り替え症例における有効性の検討 | 東京 | 一般演題 |
| 加藤嘉奈子 | 糖尿病内科 | 2018.4.27-28 | 第 91 回日本内分泌学会学術総会 | 劇症1型糖尿病発症急性期にCD4+PD-1+T細胞とCD8+PD-1+T細胞の著名な低下、CD4+CD25+FoxP3+調節性T細胞の上昇を認めた2症例の検討 | 宮崎 | ポスター |

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|-------|----------|---------------|--------------------------|--|-----|-------------|
| 元 志宏 | 腎臓内科 | 2018.3.18 | 日本医工学治療学会 第34回学術大会 | 劇症型 A 群レンサ球菌感染症に対して AN69ST 膜を用いた CRRT が循環動態の改善に有効であった 1 例 | 埼玉 | 一般演題 |
| 元 志宏 | 腎臓内科 | 2018.6.9-10 | 第 61 回日本腎臓学会 学術総会 | シナカルセット服用困難症例でのエテルカルセチドの有用性 | 新潟 | ポスター |
| 元 志宏 | 腎臓内科 | 2018.6.29-7.1 | 第63回日本透析医学会 学術集会・総会 | シナカルセットからエテルカルセチドに切り替える際にシナカルセットの休薬は必要ない | 神戸 | 一般演題 |
| 金井弘次 | 腎臓内科 | 2018.6.29-7.1 | 第63回日本透析医学会 学術集会・総会 | AN69ST 膜による持続血液ろ過透析を施行し、救命しえた劇症型 A 型連鎖球菌感染症の 1 例 | 神戸 | ポスター |
| 小川晃生 | 腎臓内科 | 2018.6.29-7.1 | 第 63 回日本透析医学会 学術集会・総会 | シナカルセットからエテルカルセチドに切り替える際にエテルカルセチドはすべて 5mg で開始すべきか | 神戸 | ポスター |
| 清水喜徳 | 外科 | 2018.3.8-9 | 第54回日本腹部救急医学会 学術総会 | 一般口演 19 後腹膜 | 東京 | コメンテーター |
| 庄子 渉 | 外科 | 2018.6.7-9 | 第30回日本肝胆膵外科学会・学術集会 | A Case of Pancreatic VIPoma Presenting with WDHA Syndrome | 横浜 | ポスター |
| 柳田充郎 | 外科 | 2018.7.7 | 第 849 回外科集談会 | PET で集積を認め乳癌と同時手術をした Splenic marginal zone B-cell lymphoma(SMZL) の 1 例 | 東京 | 一般演題 |
| 木山 宏 | 心臓血管外科 | 2018.5.11 | 第 46 回日本血管外科学会学術総会 | 自己静脈表在化もしくは転位を行ったバスキュラーアクセスの早期成績 | 山形 | 一般演題 |
| 加藤泰之 | 心臓血管外科 | 2018.5.11 | 第 46 回日本血管外科学会学術総会 | 大動脈弁輪拡張症に対する人工血管リングによる弁輪外固定を併用した remodeling 法の工夫と成績 | 山形 | ビデオセッション |
| 菅野靖幸 | 心臓血管外科 | 2018.5.11 | 第 46 回日本血管外科学会学術総会 | 予期せぬ部位、タイミングで生じた、TAR 後の人工血管に関連した仮性動脈瘤の 2 症例 | 山形 | ポスター |
| 児玉ひとみ | 乳腺・内分泌外科 | 2018.6.28 | 第 30 回日本内分泌外科学会総会 | 甲状腺未分化癌と鑑別を要した魚骨の食道穿通による頸部肉芽腫の 1 例 | 札幌 | ポスター |
| 中村 靖 | 乳腺・内分泌外科 | 2018.5.16-18 | 第 26 回日本乳癌学会学術総会 | 術前診断としての乳房専用 PET の使用経験 | 京都 | ポスター |
| 中村 靖 | 乳腺・内分泌外科 | 2018.6.28 | 第 30 回日本内分泌外科学会総会 | 原発性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺腫摘出後に Crowned dens syndrome を発症した 1 例 | 札幌 | ポスター |
| 公平勇二 | 整形外科 | 2018.7.12-13 | 第51回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 | 上腕骨近位部悪性骨腫瘍切除後における肩関節機能の新しい再建法ポリプロピレンメッシュを用いたリバース型人工関節置換術 | 静岡 | ポスター |
| 石原正一郎 | 脳神経センター | 2018.5.18 | 第 38 回日本脳神経外科コンgres総会 | 汎用型ハイブリット手術環境の構築 - 患者視点にたった機能性とデザイン - | 大阪 | ランチョンセミナー演者 |
| 本田憲業 | 放射線科 | 2018.4.12-13 | 第 77 回日本医学放射線学会総会 | ポスター発表 5 IT・読影 | 横浜 | 座長 |
| 山崎美保子 | 放射線科 | 2018.3.10 | 第 537 回 NR 懇話会 | 一般演題「70 代 / 男性 腰椎 epidural AVF」 | 東京 | 一般演題 |
| 山崎美保子 | 放射線科 | 2018.5.18 | 第 340 回 BODY-CT 研究会 | 偶然見つかった後腹膜腫瘍の一例 | 東京 | 一般演題 |
| 山崎美保子 | 放射線科 | 2018.6.28-30 | 第 38 回神経放射線ワークショップ | 症例検討 2 | 大阪 | コメンテーター |
| 山崎美保子 | 放射線科 | 2018.7.6 | 第342回BODY-CT研究会 | 腹痛で来院した 66 歳女性 | 東京 | 一般演題 |
| 山崎美保子 | 放射線科 | 2018.7.7 | 第 541 回 NR 懇話会 | 腰椎 epidermoid+ 骨化性くも膜炎 | 東京 | 一般演題 |
| 森田さおり | 麻酔科 | 2018.5.18 | 日本麻酔科学会第65回学術集会 | 消化器外科手術における術後慢性腎障害についての検討 | 横浜 | ポスター |
| 田頭いとゑ | 歯科 | 2018.6.22 | 日本老年歯科医学会第29回学術大会 | 摂食嚥下障害患者が栄養状態を回復し多職種連携により最期まで経口摂取を継続した症例 | 東京 | ポスター |

【地方学会】

| | | | | | | |
|------|--------|--------------|-------------------------|--|----|------|
| 佐藤孝宏 | 循環器内科 | 2018.4.12-14 | 近畿心血管治療ジョイントライブ 2018 | 慢性完全閉塞を含む 2 枝閉塞によりうっ血性心不全、心原性ショックを合併した高齢者の急性冠症候群に対して一期的に治療した一例 | 大阪 | ポスター |
| 佐藤孝宏 | 循環器内科 | 2018.6.21-23 | 第 8 回豊橋ライブデモンストレーションコース | 慢性完全閉塞を含む 2 枝閉塞によりうっ血性心不全、心原性ショックを合併した高齢者の急性冠症候群に対して一期的に治療した一例 | 愛知 | 一般演題 |
| 西山茂樹 | 循環器内科 | 2018.4.12-14 | 近畿心血管治療ジョイントライブ 2018 | 2 回目の AMI で SCAD と判断され以前の AMI も SCAD の関与が示唆された症例 | 大阪 | ポスター |
| 西山茂樹 | 循環器内科 | 2018.6.21-23 | 第8回豊橋ライブデモンストレーションコース | 2 回目の AMI で SCAD と判断され以前の AMI も SCAD の関与が示唆された症例 | 愛知 | 一般演題 |
| 阿部敏幸 | 消化器内科 | 2018.6.16-17 | 第106回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 | 胆道疾患に対する経口胆道鏡 (SpyGlassTMDs) の使用経験 | 東京 | 一般演題 |
| 関根章裕 | 消化器内科 | 2018.6.16-17 | 第 106 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 | 完全内蔵逆位に合併した総胆管結石症に対し EPLBD 施行し切石した 1 例 | 東京 | 一般演題 |
| 山田宗明 | 心臓血管外科 | 2018.6.23 | 第177回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 | 急性 A 型大動脈解離の診断で手術的に紹介され開胸手術を回避した motion artifact の一例 | 東京 | 一般演題 |

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|-------|---------|-----------|-------------------------------|--|-----|------|
| 近藤竜史 | 脳神経センター | 2018.7.14 | 第15回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会 | 難治性の頸動脈ステント内ブランク突出が PCSK9 阻害薬投与後に抑制された 2 例 | 東京 | 口演 |
| 近藤竜史 | 脳神経センター | 2018.7.14 | 第15回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会 | 血栓回収療法 2 | 東京 | 座長 |
| 山田哲也 | 整形外科 | 2018.3.10 | 第63回埼玉手外科研究会 | 前骨間神経麻痺の 1 例 | 埼玉 | 一般演題 |
| 山崎美保子 | 放射線科 | 2018.4.28 | 第109回骨軟部おたくカンファレンス | 後腹膜の angiomyolipoma | 東京 | 一般演題 |

【講演】

| | | | | | | |
|-------|----------|-----------|-----------------------|---|----|------|
| 荒巻和彦 | 循環器内科 | 2018.4.20 | 西部地区かかりつけ医連携の会 | これからの埼玉石心会病院・循環器内科について | 埼玉 | 講演 |
| 入江忠信 | 循環器内科 | 2018.4.20 | 西部地区かかりつけ医連携の会 | 日々の症例で見る不整脈治療 | 埼玉 | 講演 |
| 入江忠信 | 循環器内科 | 2018.5.17 | 第2回循環器カンファレンス | 修正大血管転位症に合併した心室細動に対し、植込型除細動器移植術を行い、中長期に経過観察した 2 例 | 埼玉 | 講演 |
| 入江忠信 | 循環器内科 | 2018.6.9 | 第52回埼玉不整脈ペーシング研究会 | 持続性心房細動に対し figure of 8 型肺静脈隔離術を行い、洞調律化が得られた症例 | 埼玉 | 講演 |
| 入江忠信 | 循環器内科 | 2018.7.3 | 不整脈セミナー | How to interpret an ECG | 埼玉 | 講演 |
| 入江忠信 | 循環器内科 | 2018.7.28 | 心臓血管市民公開講座 | カテーテルで治す心房細動 「不整脈の回路を高周波で焼く」 | 埼玉 | 講演 |
| 根田 保 | 糖尿病内科 | 2018.3.2 | 埼玉西部 CKD 研究会 | CKD 診療と医療連携 | 埼玉 | 座長 |
| 根田 保 | 糖尿病内科 | 2018.6.8 | MSD 社内学術研修 | 糖尿病専門医から見た DPP4 阻害薬・SGLT2 阻害薬 | 埼玉 | 講演 |
| 小野田教高 | 内分泌内科 | 2018.5.29 | 地域医療連携セミナー | | 埼玉 | 座長 |
| 小野田教高 | 内分泌内科 | 2018.5.30 | 第7回埼玉西部甲状腺カンファレンス | | 埼玉 | 座長 |
| 小野田教高 | 内分泌内科 | 2018.7.3 | 第9回埼玉甲状腺疾患研究会 | すぐに役立つ甲状腺疾患の診断のコツ | 埼玉 | 座長 |
| 小柳俊哉 | 心臓血管外科 | 2018.4.20 | 西部地区かかりつけ医連携の会 | 西部地区かかりつけ医連携 | 埼玉 | 講演 |
| 小柳俊哉 | 心臓血管外科 | 2018.6.25 | 地域医療連携セミナー | 「平成 30 年度診療報酬改定」「虚血性心疾患における戦略的抗血栓療法」 | 埼玉 | 座長 |
| 小柳俊哉 | 心臓血管外科 | 2018.7.28 | 心臓血管市民公開講座 | 心臓血管センターとは | 埼玉 | 総合座長 |
| 木山 宏 | 心臓血管外科 | 2018.7.28 | 心臓血管市民公開講座 | カテーテルで治す心臓弁膜症 「胸を切らずに人工弁を入れる」 | 埼玉 | 講演 |
| 加藤泰之 | 心臓血管外科 | 2018.6.8 | 平成 30 年 6 月度 MR 学術研修会 | 特別講演「埼玉石心会病院における心臓血管外科手術について」 | 埼玉 | 講演 |
| 児玉ひとみ | 乳腺・内分泌外科 | 2018.3.22 | 川越 BEST-BC | 再発乳がんの診断と治療 | 埼玉 | 講演 |
| 石原正一郎 | 脳神経センター | 2018.7.4 | 第267回埼玉脳神経外科懇話会 | 一般演題 | 埼玉 | 座長 |
| 石原正一郎 | 脳神経センター | 2018.7.18 | 西武抗凝固療法 Up to Date | 一般講演 I | 埼玉 | 座長 |
| 都築伸介 | 脳神経センター | 2018.7.4 | 第267回埼玉脳神経外科懇話会 | Minisphenoidal approach —低侵襲開頭 clipping 術の一例— | 埼玉 | 口演 |
| 都築伸介 | 脳神経センター | 2018.7.13 | 第45回埼玉中枢神経画像診断研究会 | 急速に進行する延髄障害を呈した頭蓋頸椎移行部硬膜動脈瘤の一例 | 埼玉 | 口演 |
| 近藤竜史 | 脳神経センター | 2018.7.18 | 西武抗凝固療法 Up to Date | 可動性血栓を伴う急性期症候性頸動脈狭窄に対する血管内治療 | 埼玉 | 一般講演 |
| 上宮奈穂子 | 脳神経センター | 2018.5.26 | 第52回西関東 NeuroIVR セミナー | 急性期血栓回収後の再灌流障害の検討 | 埼玉 | 口演 |
| 相田久美 | 病理診断科 | 2018.7.3 | 第9回埼玉甲状腺疾患研究会 | 甲状腺疾患の診断検査について | 埼玉 | 講演 |

リハビリテーション部

| | | | | | | |
|------|------------|----------|---------------|------------------|----|----|
| 木村壮介 | リハビリテーション部 | 2018.7.1 | 第3回西東京運動療法研修会 | 介護予防と地域・在宅での運動療法 | 東京 | 講演 |
|------|------------|----------|---------------|------------------|----|----|

放射線部

| | | | | | | |
|------|------|-----------|-------------------------|---------------------------------------|----|----|
| 河原大悦 | 放射線部 | 2018.5.26 | 第52回 西関東 Neuro IVR セミナー | 当院における IV-CBCT の現状 | 当院 | 口演 |
| 邨井優大 | 放射線部 | 2018.6.16 | 第5回 全国 SOMATOM 研究会 | Dual source CT 導入に際して Right Dose を考える | 東京 | 口述 |
| 中根寛人 | 放射線部 | 2018.6.18 | 第10回 千葉 IVR 技術セミナー | 下肢 IVR | 千葉 | 講師 |

| 発表者 | 部署 | 期間 | 学会名 | 演題名 | 開催地 | 発表形態 |
|------|------|-----------|------------------------------|---|-----|-------|
| 清水大輔 | 放射線部 | 2018.7.13 | TOPIC2018 | コメディカルセミナー | 東京 | パネリスト |
| 諸田智章 | 放射線部 | 2018.7.17 | 第37回 埼玉 Signa User's Meeting | Architectにおける頸動脈プラークイメージング ～ルーチンプロトコルの検討～ | 埼玉 | 口述 |

CE 部

| | | | | | | |
|------|------|---------------|----------------|-------------------------------------|----|----|
| 菅野安紀 | CE 部 | 2018.6.3 | 第28回埼玉臨床工学会 | 無酢酸重曹透析液、重炭酸透析液による2系統の透析集中配管システムの構築 | 大宮 | 講演 |
| 佐々木瞭 | CE 部 | 2018.6.29-7.1 | 日本透析医学会学術集会・総会 | 無酢酸重曹透析液、重炭酸透析液による2系統の透析集中配管システムの構築 | 神戸 | 講演 |

EMT 課

| | | | | | | |
|------|-------|----------|-----------------|------------------------------|-----|------|
| 中山遼介 | EMT 課 | 2018.6.1 | 日本臨床救急医学会（全国学会） | 救急救命士の病院内における医療業務調整員としての活動報告 | 名古屋 | 一般公演 |
|------|-------|----------|-----------------|------------------------------|-----|------|

MSW 課

| | | | | | | |
|-------|-------|----------|--------------------|--------------------------------|--------|------|
| 佐々木優希 | MSW 課 | 2018.6.2 | 埼玉県医療社会事業協会 第24回学会 | 外来部門に勤務するソーシャルワーカーの存在意義について考える | 埼玉県大宮区 | 一般公演 |
|-------|-------|----------|--------------------|--------------------------------|--------|------|

◆さやま総合クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

| | | | | | | |
|-------|--------|--------------|-------------------|--|----|--------|
| 萩原美桜 | 健診センター | 2018.5.16-18 | 第26回日本乳癌学会学術総会 | 任意型検診マンモグラフィでの高濃度乳房に対する取り扱いの検討 | 京都 | ポスター |
| 菅野壮太郎 | 外科 | 2018.6.8-9 | 第20回日本医療マネジメント学会 | どこまでできる、地域完結型医療-急性期病院と外来クリニックの現状 | 札幌 | 口演 |
| 関根真一 | 口腔外科 | 2018.6.9-10 | 第36回日本顎咬合学会学術大会 | 知っておきたい抜歯のポイント | 東京 | 口演 |
| 熊坂礼音 | 循環器内科 | 2018.7.12-13 | 第65回日本不整脈心電学会学術集会 | ICD/CRT-D 植込み心不全患者に対する心臓リハビリテーションの効果・CPXの安全性と予後の検討 | 東京 | シンポジスト |

◆さやま腎クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

| | | | | | | |
|------|--------|-----------|--------------------|-------------------------------------|----|----|
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.6.29 | 第63回日本透析医学会学術集会・総会 | その他合併症2 | 神戸 | 座長 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.6.29 | 第63回日本透析医学会学術集会・総会 | CKD-MBDの新しい治療戦略-当院におけるエテルカルセチドの使用経験 | 神戸 | 講演 |

【講演会】

| | | | | | | |
|------|--------|-----------|------------------------------------|-------------------------------------|-----|----|
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.5.21 | 透析セミナー in 品川大田 | CKD-MBDの新しい治療戦略-当院におけるエテルカルセチドの使用経験 | 東京 | 講演 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.5.25 | CKD-MBDを考える会 in 神奈川 | CKD-MBDの新しい治療戦略-当院におけるエテルカルセチドの使用経験 | 横浜 | 講演 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.5.29 | 南部医療圏パーサビブ発売1周年記念講演会 | CKD-MBDの新しい治療戦略-当院におけるエテルカルセチドの使用経験 | 川口 | 講演 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.6.22 | 埼玉西部地区脂質異常症治療セミナー | 脂質異常症治療の現状と展望～厳格な治療を目指して～ | 狭山 | 座長 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.7.10 | 第2回CKD-MBD Area Seminar in Odawara | CKD-MBDの新しい治療戦略-当院におけるエテルカルセチドの使用経験 | 小田原 | 講演 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.7.12 | 越谷CKD-MBDセミナー | CKD-MBDの新しい治療戦略-当院におけるエテルカルセチドの使用経験 | 越谷 | 講演 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 2018.7.20 | 埼玉西部CKD-MBD研究会 | 多様性を持つ高齢透析患者の対策～低栄養・消耗関連病態を中心に～ | 狭山 | 座長 |

診療部以外

| | | | | | | |
|-------|----------|---------------|--------------------|---------------------------------------|-----|------|
| 坂本直子 | 看護科 | 2018.6.29-7.1 | 第63回日本透析医学会学術集会・総会 | 「透析中の災害を想定した避難訓練に毎年参加している透析患者の訓練への思い」 | 神戸市 | ポスター |
| 川鍋美恵 | 医療技術科薬剤室 | 2018.6.29 | さいとこCDEJ研修セミナー2018 | 糖尿病患者さんの血圧・脂質管理 ～頻用薬物備忘録～ | 埼玉 | 講演 |
| 追鳥瑞樹 | 医療技術科CE室 | 2018.6.29-7.1 | 第63回日本透析医学会学術集会 | フットケア業務とSPP測定の有用性の検討 | 神戸 | ポスター |
| 石川一人 | 医療技術科CE室 | 2018.6.3 | 第28回埼玉臨床工学会 | 一般演題 セッションII （6演題） | 埼玉 | 座長 |
| 大久保和俊 | 医療技術科CE室 | 2018.7.20 | 埼玉西部CKD-MBD研究会 | 腎臓リハビリテーション 慢性腎臓病患者への運動療法 | 埼玉 | 座長 |

論文・教科書執筆等

| 診療部 | | | | |
|-------|---------------|--------------------------|---|-------|
| 発表者 | 部署 | 雑誌名 | タイトル | 分類 |
| 池田直史 | 人工透析内科 | 透析療法ネクストXXIV:80～84, 2018 | 当院におけるエテルカルセチドの使用経験 | 書籍 |
| 診療部以外 | | | | |
| 大久保和俊 | 医療技術科 CE 室 | 東京医学社 事例から学ぶ医療安全対策 | 血液透析関連編『指示と異なる透析条件の実施』『補液回路の接続忘れ』『回路の逆接続』 | 書籍の分筆 |

編集後記

9月6日、北海道の大地震。7月の西日本豪雨。台風も頻繁に日本列島を襲い、8月末の21号は関西地方に大被害が。7月の熱中症緊急搬送は5万4220人、死者は133人と最多記録です。

被災された方々、関係の皆様にお見舞い申し上げます。

この夏は、天災に振り回されました。災害に対して、常に心の準備と防災の訓練が必要です。（編集子）

・・・暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海、戸惑い騒ぐばかりの鴉らの群れを尻目に、海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

本誌タイトル『海燕』は、M. ゴーリキーの散文集《海燕の歌》（1901）に由来しています。その大意は以上のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。